

ふるさと農園

平成22年8月4日(水) 午前5時15分 日の出



高槻市郡家新町の農園に朝日がふりそそぎ始めました。スサノウノミコト神社の森、JR高槻駅北の高層マンションなど影絵のようです。畑の夏野菜が水を求めています。毎朝5時に、水をやり、きゅうり、なす、とまとの収穫をします。朝の運動に自転車を二十分こいで、農園までくると汗ばみます。

植栽の散水

ボランティア活動

高槻地域生活総合支援センター“ふれいすBe”は、障害のある方のための多機能サービス施設と

して、2009年4月に事業を開始されました。障害者自立支援法の生活介護、自立訓練、就労移行支援、就労継続支援B型、短期入所(日中一時支援)および相談支援等の事業をされている施設です。

開所にあたって、緑に包まれたセンターにしようとして、多くの植栽が行われています。2010年の夏は、特に暑く、センターの植栽が弱っているため、急拠散水の話が、「VG概輪」にきました。センターに行きますと非常に植栽が弱っているの、会員の協力を得て、



8月から2名1チームの編成を組み、西日の暑い中での散水活動を行っています。雨の日は散水しなくても良いのですが、8月は休む日はなさそう

です。9月一杯は必要ではないかと思っています。

とけいそう

“夏のノルマ”

”ノルマを果たさなければ一日は始まりません”

夫婦揃っての、市民検診の結果を見ながら、ホームドクターが「測からんでも見たら分かるメタボ、ハハハ！特に問題ないから、標準目指して頑張つて」と何も指導もアドバイスもなく、突き放された。それで、梅雨明けから、毎年の朝歩きを性懲りもなく今年もスタートさせた。夏の夜明けは早く、6時に家を出るので、はもう遅い。私たちの、歩くコースは3種類。ちなみに我が家は高槻市松が丘1丁目である。ひとつは、夫の借りている畑周辺、摂津峡下の口芥川沿いの遊歩道で、6時半には公園のラジオ体操に人が集まるが、夏は、この時間は、既に太陽がきらきらで、私たちはバス。朝、歩きそびれた時、夜歩くことにしているコースである。二つ目は、神峯山寺コ

ース。朝5時半に車で家を出て、走ること約5分。原の農道近くに車を停めて、神峯山寺を目指す。



上り口まで15分くらい、お寺にはそれから20分くらい、毎朝歩いているらしき善男善女が、足並みも軽やかに、声高々と「おはようございます」と、荒い息の私たちを追い抜いていく。車の停めである畑道を少し歩くと一時間、万歩計は7000歩くらい。このコースはお寺までは上り坂で多少の負荷はあるが、往復とも山の陰で、7時近くなっても、夏の日差しは免れる。三つ目のコースは、せらぎの里コース。5時過ぎに、車で亀岡線のバス道を走ること20分、出灰(ゆずりは)のバス停を川沿いに榎田の方に入っていくとせらぎの里である。気温は、松が丘より3度以上は低く、まるで避暑にきたようである。車を停めて川沿いに

緑のシャワーを浴びながら、村落を二つ抜けて往復90分約10000歩である。

朝目覚める。5時である。あくあつ！起きなければ。歩かなければ。雨でもなし、階下で夫が雨戸をあける音。あくあつ！今日もあのどちらかのコースを歩くというノルマを果たさなければ一日は始まりません。この夏決めたノルマです。

S・I

“時の風吹くと題された

旧岩崎邸と庭園”

今NHK大河ドラマ「坂本竜馬伝」をご覧の方は多かるうと思えますが、その中に登場する岩崎太郎が東京で三菱財閥を創設した事をご存知でしょうか。

により今の東大工学部の教授として英国より来日し、鹿鳴館や上野博物館など日本の近代建築に貢献したそうです。建築当初二十棟以上、一万五千坪以上あったけれど、現存するのは洋館・和館・撞球室(ビリヤード)の3棟と庭園の約五百坪です。洋館から庭側を見るとイタリア・トスカナ風列柱と床はイスラム風モザイクタイル。邸内内部も世界中の様式が取り入れられています。さすが世界を相手に貿易をし、財閥になった一族。よくぞ戦禍を免れたもの。芝生の向こうには近代ビルが林立しています。この間には、百年以上の歴史の風が吹いています。

S・U

写真は、平成十三年に公開された旧岩崎家の洋館本邸です。ヨーロッパで見られる英国コロンビア風といわれるお城のような建物です。明治二十九年弥太郎の息子、三代目久弥がジョサイア・コンドルに設計建築を命じたたてたものです。この人は明治十年政府の招聘



(抜粋・詳しくはHPで)